

令和4(2022)年度広域科学専攻修士課程入学試験 「外国語(英語)」の試験について

1. 「外国語(英語)」について

「外国語(英語)」の試験は、下記の方法による。

(1) 生命環境科学系及び広域システム科学系

令和元(2019)年9月1日以降受験の TOEFL-iBT、TOEFL-iBT Home Edition、TOEFL-iBT Special Home Edition 又は TOEFL-PBT のスコアシートを提出すること。

スコアシートの提出方法については、「2. TOEFL スコアシートを提出する際の注意」を参照すること。

(2) 関連基礎科学系(任意提出)

TOEFL、TOEIC、IELTS、英検等各種英語に関するスコア・資格があれば、証明書等のコピーを提出してもよい。

2. TOEFL スコアシートを提出する際の注意(生命環境科学系及び広域システム科学系)

(1) 試験の種類 TOEFL の試験の種類は、TOEFL-iBT、TOEFL-iBT Home Edition、TOEFL-iBT Special Home Edition 又は TOEFL-PBT のいずれかとする。

(2) 有効期限 令和元(2019)年9月1日以降に受験したものに限定する。

(3) 提出書類 以下の両方を提出する。

1) 【ETS(Educational Testing Service)から本人宛に送付される「Test Taker Score Report」のコピー】

TOEFL-iBT 又は TOEFL-PBT の「Test Taker Score Report」のコピーを出願書類に同封して提出する。

2) 【ETSから本研究科宛に直送される「Institutional Score Report」】

送付先として「DI(Designated Institution)コード“6184”」(Departmentコード“99”(Any Department Not Listed))を指定し、「Institutional Score Report」が出願受付期間の最終日までに届くよう、ETSに請求すること。

注)・ETSから本研究科に送付される「Institutional Score Report」は、請求してからかなりの日数を要することがあるので、ETSへの請求は提出期限の6週間以上前までを目処に行うこと。

・「DIコード“9259”(U of Tokyo)」で請求しないこと。本研究科には届かない。

・TOEFL iBT テストのスコアレポート(令和元(2019)年8月1日以降に発行されたもの)については、Test Date スコアのみを出願スコアとして活用する。(MyBest スコアは活用しない。)